

次世代を担う人材育成支援事業 チャレンジポート2019 成果報告

2020年2月6日

イノベーションポート200

本事業の趣旨

港区における企業、商工団体及び行政等による公民連携を強化し、それぞれの強みを活かしたビジネス機会の創出、次世代を担う人材の育成を支援することで、**産業振興を図りまちの活性化をめざす**ことを目的としています。

<http://www.city.osaka.lg.jp/minato/page/0000434558.html>

本事業の目的: 産業振興をまちの活性化を目指す

私たちのビジョン・コア技術が明
確になった！
大人のもつパッション

子供が描く未来

産業人材育成

次世代育成



港区企業



伝える力
巻き込む力



チャレンジ
ポート2019

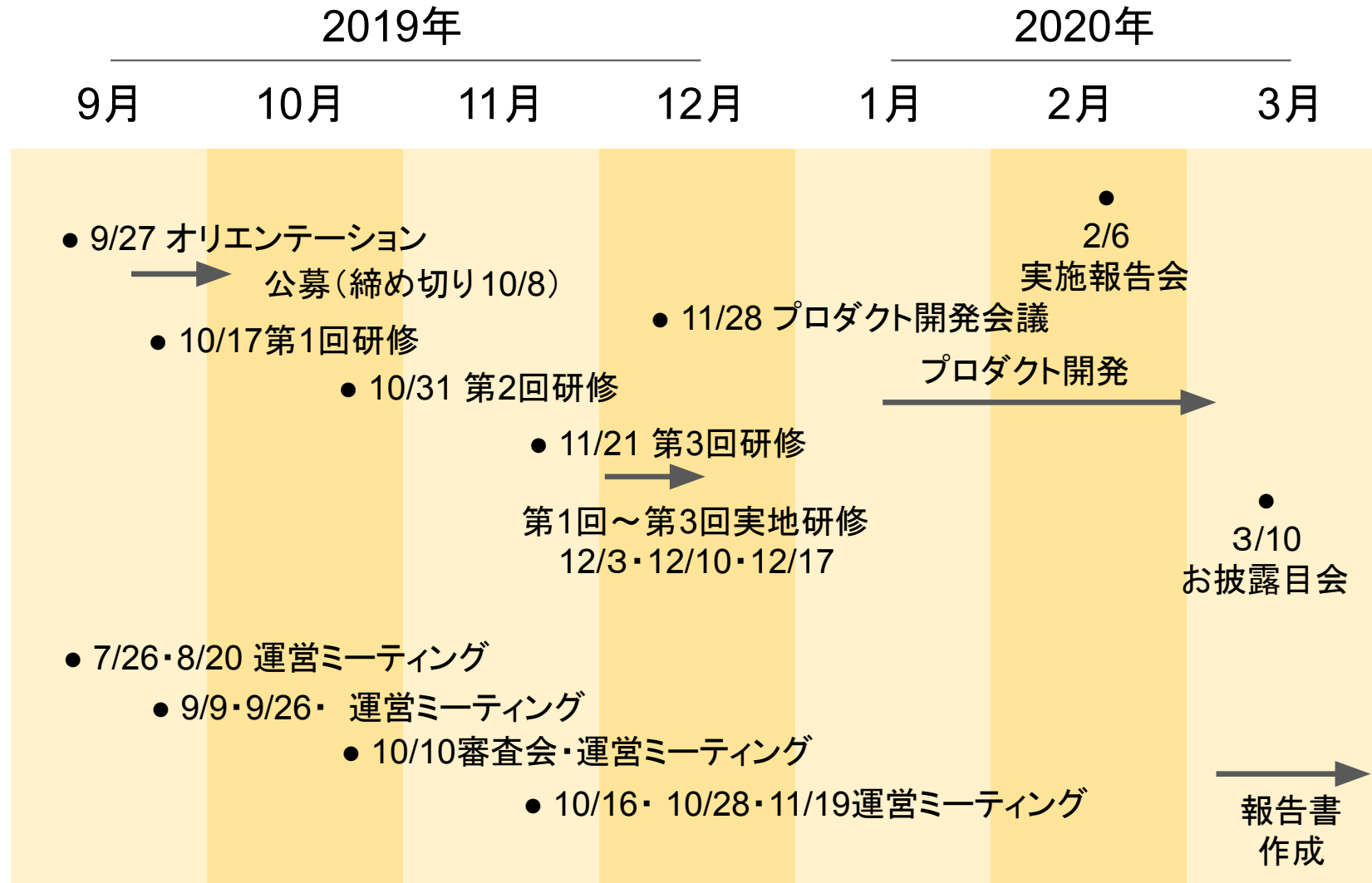


働かって楽しそう！
こんなお仕事してみたい！

大人が変われば地域が変わる

全体のスケジュール

<スケジュール>



オリエンテーションと参加企業の決定

9/27にオリエンテーションを実施し、区内から 9社が参加した。



審査会の結果、エントリーのあった 9社を全て採択

株式会社ファーストオーシャン(飲食)

株式会社フォレスト(飲食)

株式会社SAKULA(美容)

株式会社あんしん舌番(防犯)

株式会社DREAMS(飲食)

株式会社HANG(スポーツ機器)

野村監督

株式会社成光精密(ものづくり)

株式会社南歯車(ものづくり)

事前研修の内容

日付(案)	研修内容案	
9月27日(火)	オリエンテーション	自社の解決すべき社会的課題 と個人が熱を持って取り組む内容を明確化する。
10月17日(木)	第1回研修	相手を理解し、 わかりやすく伝える方法を学ぶ 。巻き込むこと、巻き込まれることが異分野・異領域の連携に必要なことを知る。
10月31日(木)	第2回研修	自社の理念や技術、事業をもとに、 教育プログラムを考案 する。
11月21日(木)	第3回研修	考案した教育プログラムについて 実演 。フィードバックを共有し、企画準備を進める。
12月上旬	実地研修	港区内の小学校にて参加企業による キャリア教育プログラムを3回実施 する(実施日については運営事務局、実施校と相談)。

運営・司会:イノベーションポート 200田口・森下 サポート:リバナス

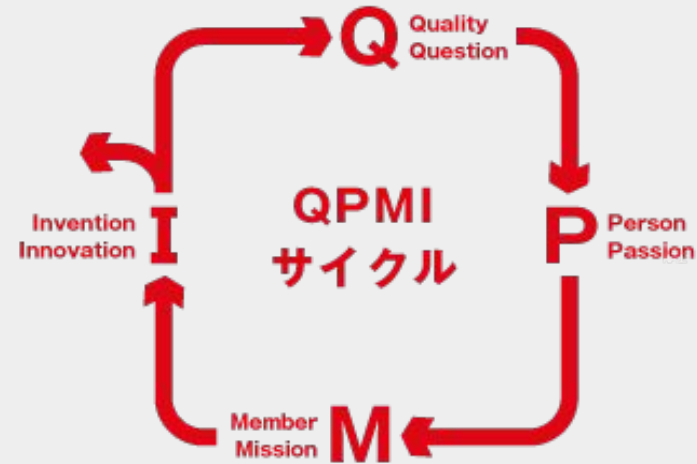
事前研修の内容

21世紀の仕事

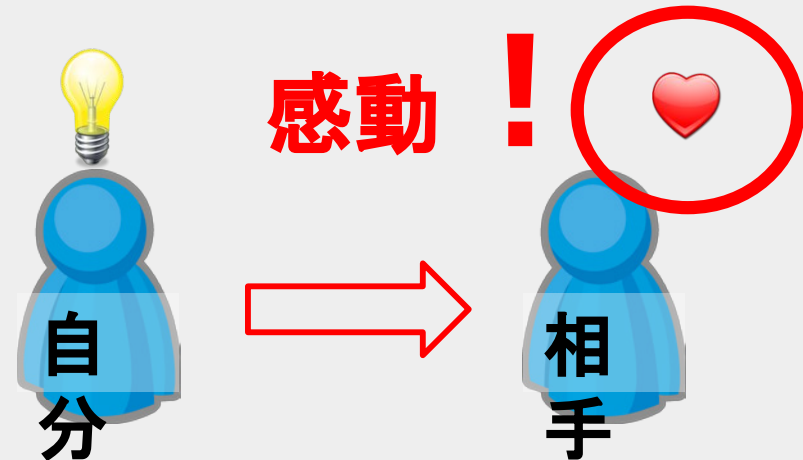
事に
仕える

事を
仕掛ける

自分の考え、自分のアイデアを持てるようになること



プレゼンテーションの本質



授業内容

実地研修1回目
2019年12月3日
10:45-11:30

実地研修2回目
2019年12月10日
9:40-10:25

実地研修3回目
2019年12月17日
9:40-10:25

テーマ	港区にいる方々のお仕事は？	ものづくりって何だろう？	私たちが作る新しいもの・こと
達成目標	港区にも様々な仕事があり、みんなの生活を支えていることを知る。また、その <u>仕事に自分のアイデアを足す</u> ことで生活がより豊かになることを知る。	<u>プロの職人</u> が日々行っている試行錯誤の中にある、うまく作れたときの楽しさと思い通りにならない難しさを知る	<u>アイデアをカタチにする</u> ためには、目的を考えた上で新しいものづくりや工夫(サービス)を試行錯誤する必要があることを知る。
参加企業	ファーストオーシャン／フォレストあん しん吉番／SAKULA HANG／Dreams	南歯車 成光精密	参加企業・イノポ
実地研修の目的	自らの仕事に対する熱を明確にし、それを伝えるための表現や体験を考え、 <u>想いを伝えるための力</u> をつける。	ものづくりの魅力に対する熱を伝える実体験を通じて、 <u>他者との協業、仲間作り</u> (採用など)を実現するための基盤を作る。	次世代の育成に対してチームワークを駆使して取り組むことで、経営者のみならず社員を巻き込んだ <u>人材育成の体制基盤を作る</u> 。

研修の効果

回答数：15名が回答

- 1・子どもたちや他事業者のアイデアに刺激を受けた
- 2・他社とのコミュニケーションスキル・マインドが向上した
他事業者・研究者・ベンチャーとの事業連携を行う意欲が上がった
- 3・自社と地域との関係についての意識が変化した。

地域事業者の魅力や仕事、社会的意義を伝えた 80%

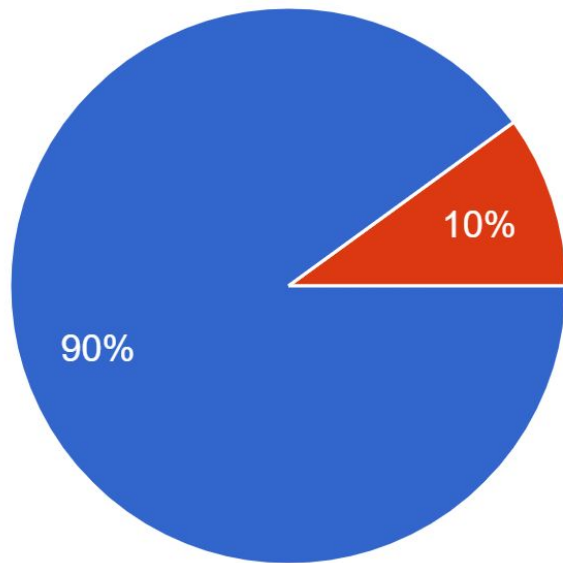
研修の満足度 80%

研修の難易度 50%

授業の効果

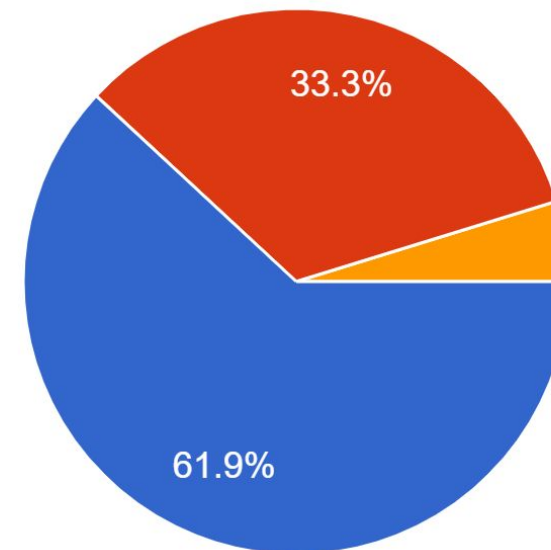
回答数: 21人が回答

今日のものづくり教室はどうでしたか？ (20件の回答)



- とても楽しかった
- 楽しかった
- つまらなかった
- とてもつまらなかった

今日考えたアイデアを実際に作ってみたい・やってみてみたいと思いましたか？ (21件の回答)



- とてもそう思った
- そう思った
- 思わなかった
- 全く思わなかった

プロダクト開発

担当企業からの発表

- ・ 教育プログラム実施時に小学生と考えた課題
- ・ プロダクト開発の着想を得た小学生のアイデア

- ・ プロダクトの説明(どんなものを作ろうとしてるのか)
- ・ 今後の動き(開発の計画)

まとめ

どんな産業人材が育ったか

→ 外部連携への意欲向上、伝えることへの意識向上

どんな次世代が育ったか

→ 地域への理解を深める、地域課題への次世代の参画

事業のアウトプット

→ プロダクト開発で課題解決を目指した製品化、
サービス化に取り組む